

1. 組み替えを求める理由

河村市長が提案した 2022 年度予算案は、コロナ危機の収束が見通せない中、国民健康保険料や後期高齢者医療保険料の値上げなど市民にさらなる負担を強いるとともに、金持ち優遇減税をテコに公立保育所の民間移管を拡大し、新たに北部地域療育センターを民間移管するなど、市直営の事業を縮小する内容となっています。

その一方で、名古屋城天守閣木造復元やリニア開業を前提とした名古屋駅周辺再開発、中部国際空港二本目滑走路建設など、不要不急の大型開発事業を推しすすめています。

今、市政に求められているのは市民の命と暮らしを守る施策です。

以上の理由から、一般会計予算の組み替えを要求します。

2. 組み替えの基本方針

以下の基本方針で予算の組み替えを行います。

- ① 新型コロナウイルス感染症対策を拡充します。
- ② 金持ち優遇の市民税減税の実施はただちに中止し、その財源確保のために行われる公的事業の民間移管や縮小計画等を中止します。
- ③ 新たな税金の浪費につながる大型開発事業、市民生活に不要不急な事業は中止します。
- ④ 市民税減税の中止や大型開発事業の見直しなどで確保した財源を活用し、市民の命と暮らし、営業を守るための事業を創設・拡大するとともに、地球温暖化対策の促進を図ります。

3. 組み替えの具体的内容

- ① 金持ち優遇の市民税減税を中止するとともに、市民負担の拡大、公的事業の縮小・統廃合、民間移管等を中止します。
 - (ア) 市民税減税
 - (イ) 国民健康保険料及び後期高齢者医療保険料の値上げ
 - (ウ) 敬老パスの利用上限設定
 - (エ) 公立保育所の民間移管及び統廃合
 - (オ) 小学校給食調理の外部委託
 - (カ) 高坂小学校としまだ小学校の統合
 - (キ) 公立地域療育センターの民間移管
 - (ク) なごやアクティブ・ライブラリー構想に基づく公立図書館改革の推進

② 新たな税金の浪費につながる大型開発事業、市民生活に不要不急な事業は中止します。

- (ア) 中部国際空港関連（同空港二本目滑走路建設促進期成同盟会への負担金支出、中部国際空港株式会社への整備費貸付金）
- (イ) 木曾川水系連絡導水路事業に係る工業用水道事業会計への出資
- (ウ) 国際展示場関連（展示場機能強化に伴う交通対策等、第1展示館の移転改築、コンベンション施設の整備）
- (エ) 名古屋城天守閣木造復元関連（名古屋城天守閣会計への財源貸付、金シヤチ横丁第二期整備における博物館構想の策定）
- (オ) ささしまライブ24地区・名駅南地区へのアクセス改善等の推進
- (カ) 水源施設建設出資金（揖斐川分）
- (キ) 名古屋高速道路公社への出資金・建設資金貸付金（黄金IC拡張等）
- (ク) 高級ホテル立地促進事業
- (ケ) 国民保護業務

③ 市民税減税や大型開発事業の中止などで確保した財源を活用し、感染症対策や市民の福祉・教育、地球温暖化対策のための事業の創設・拡大を図ります。

- (ア) 大規模PCR検査の実施等、新型コロナウイルス感染症対策の拡充
- (イ) 加齢性難聴者への補聴器購入助成の創設
- (ウ) 国民健康保険料の子どもに係る均等割の廃止
- (エ) 住宅用太陽光発電初期費用ゼロ促進事業の創設
- (オ) 学校給食費の第三子以降無償化制度の創設
- (カ) 奨学金返還支援制度の創設
- (キ) 高等学校給付型奨学金の対象を非課税全世帯に拡大
- (ク) 私立高等学校授業料補助の対象を全世帯対象に拡大
- (ケ) 小学校全学年への30人学級拡大および中学校全学年への35人学級拡大
- (コ) 小中学校全図書館での学校司書配置
- (サ) 住宅リフォーム助成の創設
- (シ) 災害対策事業基金への財源繰り出し

④ その他

- (ア) 議員団派遣（海外）の中止

以上